



ICHIKAWA H.S

NEWSLETTER

AGENCYの育成を
目指す緑学年通信

VOL.09
6 JUN, 2025

5月30日（金）に保護者懇談会、生徒・保護者合同学年集会がありました。あいにくの天気ではありましたが、学年団としても多くの情報共有ができたり実際にお会いしてコミュニケーションをとれたりと非常に実りの多い一日になりました。来て頂いた方々、誠にありがとうございました。

進路学習の一環としてABルームは5/27（火）に4年生大学や各科の学びにつながる専門学校へ。CDEルームは6/3（火）に関東学院大学金沢八景キャンパスの理系研究室訪問に行きました。事前に希望を取り、普段のオープンキャンパスでは体験できない土木・都市防災コースの地震体験や、生命科学コースの最新機器で生命現象を解明するといったプログラムに参加しました。参加した生徒でインタビューにしてみました。

Bルーム 上田 色華さん 昭和医科大学

「実際に体験をしてみて、初めて触れるものもたくさんあり、福祉、医療についてもっと知りたくなりました。」

Dルーム 堤 清士郎さん

「理工系の面白さや楽しさ、熱量にただただ圧倒された。進路を決めることに関して視野が広がった分、さらに悩みそうだが良い体験をすることができた。」

Dルーム 大野 真理恵さん

「表面工学では、チタン枝を効率的に酸化させて変化をさせる技術が車のエンブレムに応用されて



いると聞いて非常に驚いた。応用化学では蛍光性カーボンドットを手に塗って指紋がきれいにとれるかを実験していた。化学の世界に非常に興味が湧いた。私は理系選択のつもりなので、今後も実際に研究室に行き大学での研究についても調べてみようと思った。」

各プログラムに参加した後の中嶋先生や井澤先生の話では、「この学びを点で終わらせないで欲しい。楽しかった～、勉強になった～で終わるのではなく、自身の進路選択や科目選択に生かしてほしい」とありました。どの科の生徒も普段の学校生活では体験できない1日になったと思いますが、今回のプログラムはあくまで学校で用意したものにはすぎません。自分で一歩でも半歩でも踏み出せるとますます未来は拓けてくると思います。夏にオープンキャンパスに行くもよし！今回は理系ツアーだったので文系の体験に行くもよし！ABルームは就職を視野に入れている人もいます。どんな生き方をしていきたいか考えていますか？大きな選択はすぐ目の前ですよ。

今日はMATCH+進路というサービスを使い、個人の職業適性、学問学科適性、パーソナリティー診断を行いました。自分の強みや弱みが分かったと思いますが、診断して終わりではなく診断結果を生かして行動してくれると嬉しいなと思います。職業のこと、学問分野のことをもっと知ることから始めよう。誰でも今すぐできることだよ！

